

事後評価シート

主管課・室長：環境保全対策課

施策名	- 1 - (3) 酸性雨対策
施策の概要	越境大気汚染問題である酸性雨対策を国際的に協調して進めるため、東アジア地域を対象として平成13年1月から本格稼働を開始した「東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)」を推進するとともに、長期モニタリングに適した我が国における酸性雨モニタリング体制の見直しを行う。また、東アジアにおける酸性雨対策の推進に向けた調査研究等の国際協力を進める。
目標及び指標	東アジア地域を中心に、国際的な連携の下でのモニタリング、調査研究等の国際協力を進め、酸性雨による環境影響を防止する。
目標の達成状況	酸性雨による環境影響を防止することに寄与するための取組を実施。 EANETの活動の促進及び基盤強化を進めた。 国内酸性雨モニタリングの充実等を進めた。 東アジアにおける酸性雨対策に向けた調査研究を実施した。 EANETの技術的能力向上のための国際協力を進めた。
評価	UNEPへのEANET事務局機能の円滑な移転が行われ、実施体制の基盤強化が進んだが、今後は特に、財政的基盤の確立が必要。また、EANET参加国(11カ国)のさらなる拡大を目指す。 国内酸性雨モニタリングの継続的な実施等により、酸性雨の実態解明、早期発見に寄与。今後、長期モニタリング体制への円滑な移行が重要。 酸性雨にかかる調査研究やモデルの改良が行われ、将来の酸性雨対策に寄与したが、さらなる進展が必要。 EANET参加国のモニタリング技術や能力の一定の向上が図られたが、特に途上国においては、さらなる改善が必要。
今後の課題	参加国の拠出のルールを確立する等、EANETの財政面等に関する基盤の強化が特に必要 EANET参加国のモニタリング能力向上のための国際協力の継続 平成15年度から開始する酸性雨長期モニタリングを円滑に実施するための体制整備。 近年、大規模化している黄砂等、その他の越境大気汚染問題への対応。
政策効果把握の手法及び関連資料	EANET参加国数 分析機関間精度比較調査結果 国内酸性雨モニタリング結果等
添付資料(別紙)	

事務事業評価シート

施策名	- 1 - (3) 酸性雨対策	
事務事業名	効果 及び 評価	主な関連予算事項、税制等
ア．東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)の構築、拡充・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回政府間会合及び第1回科学諮問委員会等の国際会合の開催、及び国連環境計画への事務局機能移転等によりEANETの活動促進、基盤強化が行われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア酸性雨モニタリングネットワーク推進経費等
イ．国内における酸性雨モニタリングの適切な実施	<ul style="list-style-type: none"> ・全国49ヶ所の国設酸性雨測定所において降水等のモニタリングを実施したことにより、継続的なモニタリングデータが収集された。 ・効率的なモニタリング体制の確立のため、長期モニタリング計画を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・酸性雨測定網整備推進費 ・酸性雨調査研究費（国内酸性雨モニタリング）
ウ．酸性雨問題の防止に向けた国際協力の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・途上国への技術ミッションの派遣、研修生の受入事業等により、EANET参加国等の能力向上に寄与した。 ・東アジアにおいて酸性雨に係る調査研究やモデルの開発等が行われ、将来の酸性雨対策に寄与した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東アジア酸性雨モニタリングネットワーク推進経費 ・酸性雨調査研究費（東アジア酸性雨対策調査研究費） ・東アジア酸性雨シミュレーションモデル開発・検証事業